

# 提 案 概 要

(北九州市立小倉南図書館 指定管理者)

団体名：日本施設協会・図書館流通センター共同事業体

## 1 指定管理者としての適性について

### (1) 公立図書館の管理運営に対する基本的考え方 (理念・基本方針)

わたしたちは図書館を「**人類の英知を未来へと生かす知識と情報の宝庫**」と考えます。その図書館を利用するすべての人々が、教養を深め、自らの課題を解決し、働き、暮らすことで地域が活性化します。わたしたちは図書館サービスを通して地域経済活性化、雇用の拡大、社会福祉の増進に努め、社会に貢献し、明るい未来のある地域社会の創造を目指しております。そして図書館としての基本的な在り方を踏まえ地域と連携しながら、市民の学びに役立つ豊富で新鮮な資料の提供、レファレンス機能の強化と訓練されたスタッフの配置、子どもの読書活動の推進に向けての子育て世代や子どもたちへのサービスの充実などを図ります。

また、令和元年に施行された、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)や、北九州市子ども読書プラン(第4次北九州市子ども読書活動推進計画)に沿った活動を行うことで、国全体、市全体の活動に寄与することを基本方針とします。

### (2) 安定的な人的・財政基盤

わたしたちは北九州市の市立図書館をはじめ、構成企業2社で500館以上の日本全国の公共図書館を受託運営し、また、構成企業の1社は800校以上の学校図書館運営実績も有しております。専門性を有する人材の連携、融通が可能であり、常に高い水準のサービスを安定して供給することが可能です。

財政基盤においても、多くの業務委託、指定管理者、PFI業務を過去いずれの決算期においても安定した収支で運営を行っております。

また、構成企業の1社は、西日本シティ銀行受託の寄付/SDGs認証支援型「新型コロナ対策支援私募債『感謝のココロ』」を発行しており、財務内容の優良品が証明されております。

### (3) 管理運営実績や専門的な知識を有する

構成企業2社それぞれが北九州市立の各図書館を指定管理制度導入後から継続して安定的な運営を行っております。また、日本全国多くの図書館運営を運営しており、それらの専門的な経験や実績を活かすことができます。共同事業体としてもPFI事業である北九州市立八幡西図書館、そして小倉南図書館の運営にオープニングから携わっており、目標を大きく上回る実績を残しております。

## 2 管理運営計画の適確性

### 【有効性】に関する取り組み

#### (1) 施設の設置目的の達成に関する取り組み

##### 1、多様な施設とつながる図書館

小倉南図書館の周辺に存在する施設と連携して事業を行いながら図書館ネットワークの強化を図り、地域の情報が集う図書館づくりに取り組みます。

また、点字図書館と連携することで読書バリアフリー法の推進に寄与し、子ども図書館と連携することで、北九州市子ども読書プランの施策の実現に取り組みます。

## 2、市民の課題解決を支援する図書館

「市民の課題解決を支援する」図書館を実現するため、レファレンス・サービスを強化し、市民が主体的に疑問・課題を調べる拠点となることで、自立した市民による小倉南区の活性化を支援します。

## 3、子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

読み聞かせ会、工作会などの実施や、読み聞かせボランティアと協力・連携して小学校、幼稚園などへ出張読み聞かせを行い、また、図書館の上手な利用法の講座などを行い、図書館への興味、関心を深め利用を促進します。学校の情報拠点としての役割を担うよう積極的に連携していきます。調べ学習支援、読書推進活動支援のほか図書館見学、体験学習などの受け入れを積極的に行っていきます。

北九州市子ども読書プランの施策に沿った活動を積極的に行っていきます。

## 4、誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館

利用者を「お客さま」ととらえ、顧客指向に基づく接遇を徹底し、ホスピタリティあふれる図書館サービスの実現を目指し、高齢者や障がい者の方などが、図書館を利用しやすい環境を提供します。また、地域の施設や観光地などの情報が集う図書館を目指します。

読書バリアフリー法の理念に則り、障がいの有無等にかかわらず、すべての人が読書を通じて恩恵を受けられるような図書館づくりをいたします。

## 5、市民参画型図書館

ボランティアや障がいを持つ方を積極的に受け入れ連携していきます。「意見・要望箱」の設置や、また、図書館サービス・運営に、利用者である市民の声を直接反映させるため、各分野の市民活動団体との連携やボランティアの育成を進めていきます。

### (2) 利用者の満足度

利用者満足度の向上には窓口職員による質の高いサービスが重要であると考えます。接遇や個人情報保護、危機管理等のほか、郷土やレファレンスなど専門研修を積極的に受けさせ、人材育成を行っていきます。また、施設・設備やサービス面での利用者からの要望は中央図書館と相談しサービス向上に努めてまいります。

### 【効率性】に関する取り組み

#### (1) 指定管理業務に係る経費について

基本的な運営部分は直接行いますが、清掃、警備、保守点検、維持管理などは必要に応じて外部委託します。常に良い状態で施設利用を可能とするため、仕様に基づいた管理を確実に実施し、その機能を最大限に発揮させ、多くの利用者に安全で安心して施設を利用していただけのように質の高い施設の提供をします。外部委託先は地元企業を原則とし、業務の内容・質、金額など常に見直しを行い、最も施設運営に効果的な選択をしていきます。

#### (2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

空調の適正運転、窓の開閉、ブラインドの使用による冷暖房効率の向上などによる電力使用量の抑制など基本的なことに加え、市内の各図書館を運営しているスケールメリットを活かした備品消耗品の発注などにより経費を削減していきます。  
今までの小倉南図書館・曾根分館の運営実績、また、運営する他館の運営実績を参考に適正な収支計画を作成致します。実績に基づく計画ですので実現可能性は高いと思われれます。

【適正性】に関する取り組み
(1) 管理運営体制など
図書館長、次長、運営担当企業体担当者が参加する「図書館運営委員会」を組織し、運営に関する協議を定期的に行います。現場と本社が課題を共有し、同時に実績の豊富な本社の担当者が参加することで、あらゆる課題に迅速な解決を図ります。図書館長は図書館運営の総括責任者として、危機管理はじめ、あらゆる事態の最終責任者として対応します。館長不在時は、次長が代行します。館長、次長は、開館時間中は必ずどちらかが常駐しているようにします。
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
特定の団体・個人に有利あるいは不利になることがないように、また、高齢者や障がい者の利用が妨げられることがないように配慮し公正な運営に努めます。 安全・防災対策については、日常点検、館内巡回を行い、災害は必ず起きるという前提で、緊急時に迅速かつ適切な行動を行えるよう「北九州市地域防災計画」の把握に努め、現場で作成する「危機管理マニュアル」に基づき対策を徹底します。 危機管理体制については、開館中は、館長・次長のうち、必ず1名が常時勤務します。スタッフ間、運営担当企業間に「緊急連絡網」を整備し、緊急時は中央図書館や本社に速やかに報告の上、指示を仰ぎます。

提案額（千円） [千円未満切上げ]

4年度	81,482千円（税込）
5年度	81,482千円（税込）
6年度	81,482千円（税込）
7年度	81,482千円（税込）
8年度	81,482千円（税込）

※ 提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。